



平成 24 年度

予算編成方針

平成 24 年度当初予算の編成にあたっての方針を
発表します。なお、本予算は 3 月議会において慎重
審議されます。

《問い合わせ先》 財政課 (☎ 82-1131)

予算編成にあたって

予算編成にあたりましては、歳出面では、人件費において職員数の減員により一定の行財政改革効果が見込まれるものの、社会保障関連経費である扶助費が年々増大していること、一方、歳入面では、現在の経済情勢のもと税収の持ち直しが見込めないことから厳しい予算編成となり、施策については、事業の「選択と集中」に努めました。

また、国においては、平成 23 年度「第 3 次補正予算」において東日本大震災を教訓として、全国的に緊急に実施する必要が高く即効性のある防災・減災等のための施策に取り組むこととしています。

このような中、本市といたしましても、学校施設耐震化事業の前倒しや災害に強いまちづくりの情報通信ネットワークの拡充等を、新年度予算に先駆けて実施することとしています。

平成 24 年度予算においては、経常的経費は一般財源ベースでの各部局への枠配分方式による編成を行い、各部局の創意工夫に期待し、歳出一般財源の節減を図りました。臨時的経費については、災害に強いまちづくりを目指した諸施策、転入促進による人口増加を目指し、地域活力の再生を実現するための施策、子育て支援、経済・雇用につながる施策等の展開を図ることとしています。

次に、本格的な活用がはじまる合併特例債事業は、本市総合計画の基本目標「活力ある住み良さ創造都市」実現のため、新ごみ処理施設建設や新病院建設等、必要不可欠なものを厳選し実施してまいります。その結果、一般会計は前年度比 3.4% の減となる見込みです。

予算の執行に際しては、「最少の経費で最大の効果を挙げる」という理念に基づき、職員一同努力してまいりますので、市民のみなさんご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

山陽小野田市長 白井博文